

2019年9月10日

医療法人啓清会 関東脳神経外科病院
倫理委員会委員 各位

申請者 金子 由美子

審査申請書

下記について、審査を申請します。

記

1. 課題名	当院の入院費未収金の現状と対策
2. 研究者所属氏名	医療法人啓清会 関東脳神経外科病院 医事課 金子 由美子
3. 研究の目的及び意義	今後、医療費の支払いが困難な患者が増加し未収金が増える傾向と思われる。その背景には、年齢や家族構成など様々な問題があると思われる。そこで、未収金を減らすための新たな取り組みの提案と初期行動にて大幅に未収金のリスクが減少する可能性があるため報告する。
4. 研究の実施方法と実施にあたっての倫理上の問題点	台帳より抜粋。2015年（後日請求）と2017年（当日請求）の未収金の比較。 2018年4月～2019年3月までの未収金の現状 本研究は後ろ向き観察研究である。
5. 研究実施期間	2018年4月1日～2019年3月31日
6. 研究の実施場所	関東脳神経外科病院 医事課

当院の入院費未収金の現状と対策

研究計画書

医療法人啓清会 関東脳神経外科病院 医事課

研究代表者 金子 由美子

第1版 作成年月日：2019年9月10日

1. 研究名称

当院の入院費未収金の現状と対策

2. 研究実施体制

本研究は以下の体制で実施する。

1. 研究責任者 関東脳神経外科病院 医事課 金子 由美子
2. 個人情報管理者 関東脳神経外科病院 病院長 清水 暢裕
3. 外部解析機関 なし

3. 研究背景・動機

今後、医療費の支払いが困難な患者が増加し未収金が増える傾向と思われます。その背景には年齢、家族構成等、様々な問題があると思います。そこで未収金を減らすために行ってきた事、色々な目線から見た入院患者への事務対応を発表する。

4. 研究の目的及び意義

未収金を減らすための新たな取り組みの提案

初期行動にて大幅に未収金のリスクが減少する可能性がある

5. 研究の期間及び方法

(1) 研究実施期間

2015年と2017年

2018年4月～2019年3月

(2) 研究のアウトライン

①2015年(後日請求)と2017年(当日請求)の未収金の比較

②2018年4月～2019年3月までの未収金の現状

(3) 研究のデザイン

特になし

(4) 研究の実施方法

①決算台帳より抜粋

②性別・年齢・保険種類・限度額有無・時間外、救急搬送有無・入院日数

(5) 目標症例数

特になし

(6) 目標症例数の設定根拠

特になし

(7) 調査項目と試料・情報の収集方法

決算台帳・未収金台帳・入院患者情報

6. 評価項目

特になし

7. 研究対象者の選定方法

(1) 選択基準

- ①2015年、2017年全ての入院患者
- ②2018年4月～2019年3月までの全て入院患者

(2) 除外基準

自賠責保険、労災保険等

8. 研究の変更、中止

(1) 研究の変更

本研究の研究計画書等の変更または改訂を行う場合は、あらかじめ関東脳神経外科病院倫理委員会の承認及び病院長の許可を必要とする。

9. インフォームド・コンセントを受ける手続き等

(1) 研究内容の公開（オプトアウト）

目的を含む研究の実施についての情報を関東脳神経外科病院のホームページに掲載すること、また研究員の連絡先を明記することで研究対象者が拒否できる機会を保障する。

(2) インフォームド・コンセント

書面にて直接に対象症例に説明し、同意を得る

10. 個人情報の取り扱いと匿名化の方法

本研究で取り扱う試料・情報等は、個人情報管理者が匿名化したうえで研究・解析に使用する。匿名化の方法については、誰のものか一見して判別できないよう、本研究で取り扱う情報から個人を識別できる情報を削除し独自の符号を付す作業を行う。個人情報と符号の対応表は、個人情報管理者が厳重に保管する。また、本研究の成果を学会発表及び論文発表する際には、研究対象者の個人を特定できる情報は一切使用しない。

11. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益、これらの総合的評価ならびに当該負担及びリスクを最小化する対策

(1) 予測される利益

未収金の減少

(2) 予測される危険と不利益

特になし

12. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

研究対象者の本研究終了後に継続する通常診療において活用される従来の診療情報については、医師法等の関連法規に従い保管する。本研究の実施のために匿名化され取得した研究関連情報については、研究責任者の所属する部署の外部から切り離されたコンピュータのハードディスク内に保存する。情報を取り扱う研究者は、研究情報を取り扱うコンピュータをパスワード管理し、情報の紛失・遺漏等に十分配慮した取り扱いのうえで保管を行う。

本研究終了後において、本研究で得られた研究対象者の情報を他の研究において使用することはない。研究責任者は、研究終了後、研究等の実施に係るデータ及び文書を研究の中止または終了後少なくとも5年間、あるいは研究結果発表後3年が経過した日までの間のどちらか遅い期日まで保存する。その後、個人を特定されないよう処理したうえで廃棄する。なお、通常診療に用いる医療情報の保管・廃棄は医師法等の関連法規の規定に従うこととする。

13. 研究期間への長への報告内容及び方法

(1) 研究の実施の適正性若しくは研究結果の信頼を損なう事実等の情報を得た場合

研究責任者は、研究の実施の適正性若しくは、研究結果の信頼を損なう事実若しくは情報または損なうおそれのある情報を得た場合は、速やかにその旨を当該病院長へ報告する。

(2) 研究の倫理的妥当性もしくは科学的合理性を損なう事実等の情報を得た場合

研究責任者は、研究の倫理的妥当性若しくは科学的合理性を損なう事実若しくは情報または損なうおそれのある情報であって、研究の継続に影響を与えらるものを得た場合は、遅滞なくその旨を当該病院長へ報告する。

(3) 研究終了（中止の場合を含む）の報告

研究責任者は、研究を終了したときは、その旨及び研究の結果概要を文書により病院長へ報告する。

(4) 研究に用いる資料及び情報の管理状況

研究責任者は、得られた情報等の保管について、必要な管理を行い、管理状況について病院長へ報告する。

14. 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等研究に係る利益相反に関する状況

(1) 研究資金

特になし

(2) 利益相反

特になし

15. 研究に関する情報公開の方法

本研究の成果は病院内発表を予定している。

16. 研究対象者及びその関係者からの相談等への対応

研究対象者等及びその関係者からの相談については、以下の相談窓口にて対応する。

【相談窓口】

研究責任者

関東脳神経外科病院 院長 清水 暢裕

〒360-0804

埼玉県熊谷市代 1120

[TEL:048-521-3133](tel:048-521-3133)

17. 委託業務内容及び委託先の監督方法

特になし

18. 使用文献

特になし